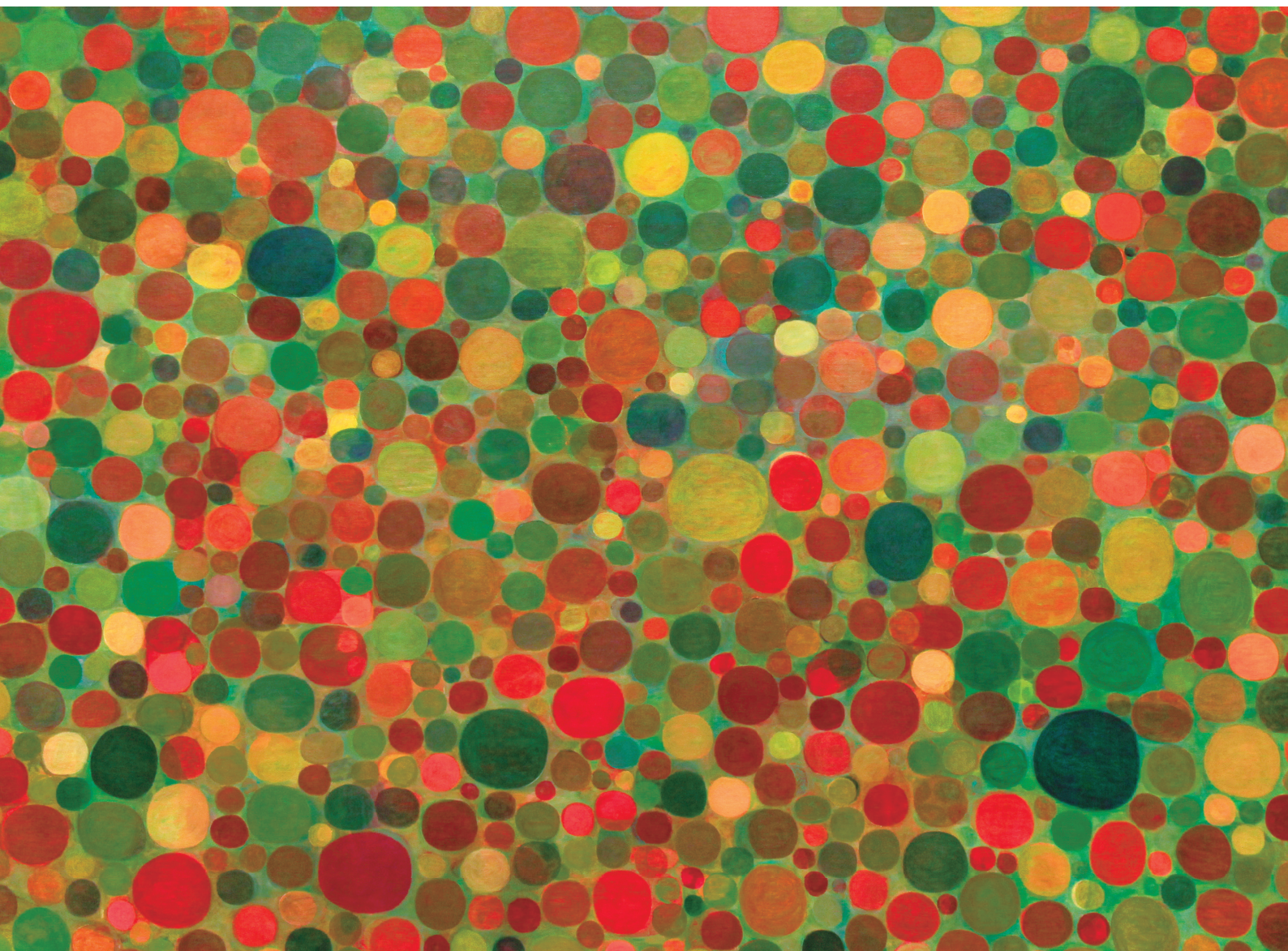


色覚多様性を *Polylogue* めぐるポリローグ



色を認知する感覚を「色覚」といいます。その人の目や脳の働きによって、色覚の特性には違いが生じるため、色の見えには多様性があります。「色覚多様性」ということばは、似たような色覚特性を持つ人や、違いが大きい(もしくは部分的に異なる)色覚特性を持つ人が、社会のなかに共存していることを表しています。タイトルにあるポリローグ(polylogue)のpolyは「多」を意味します。本企画では、色覚に関わる多領域の専門家をパネリストに迎え、多様な色覚特性を持つ人々が包摂された社会の醸成に向けて必要な視点や課題について、来場者のみなさまと一緒に考え、対話する場をひらきます。

2024.6.30 (日)

14:15-16:45 (開場 13:50)

会場:九州大学大橋キャンパス 5号館1階511教室

福岡市南区塩原4-9-1

主催:日本色彩学会, 日本色彩学会第55回全国大会実行委員会 共催:九州大学大学院芸術工学研究院
本企画は、JSPS科研費JP 24H00167(研究代表者:須長正治)、JP 23K17643(研究代表者:平松千尋)の助成を受けたものです。

参加申し込み
フォーム



応募締切

2024年6月21日(金)

参加費
無料

要事前申込み

一般参加者定員

会場参加:50名/先着順

オンライン参加:定員無し

*後日Zoomのリンク先をメールにてご連絡いたします。

*アーカイブ配信は予定していません。

*日本色彩学会第55回全国大会参加者は、あらかじめ参加申込みをする必要はありません。

色覚多様性を めぐるポリローグ

Polylogue

開催日時: 2024年6月30日(日) 14:15-16:45(開場 13:50)

第一部 パネリスト講演 / 参加型ミニワークショップ

色覚多様性をめぐるイントロダクション

モデレーター 平松千尋(生命科学)

色覚の多様性に関する現在の生物学的理解について案内する。

九州大学大学院芸術工学研究院准教授。色覚の多様性を作り出す生物学的基盤や、色覚の主観性に焦点を当てた研究に従事。

パネリスト講演

①「色盲」と権力——「言語」の観点から

従来はもっぱら生理学的な知覚能力の問題として考えられてきた「色盲」を言語の観点からとらえなおす。

② 色のクオリアと証言

色のクオリアを言語で伝えようとするとき、何が起きているのか。哲学と文学における「証言」という問題から考える。

③「色弱の絵画」

自分とは異なる色覚特性をベースに構築されてきた絵画の世界において「色弱が絵を描く」ことについて、最新の制作実践をととして解説する。

④ 色覚多様性と社会包摂

芸術やデザイン、福祉領域における取組みをヒントに、多様な色覚特性が包摂された社会をつくるための仕組みについて考える。

馬場靖人(科学思想史、視覚文化論、メディア論)

早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員。2017年早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。早稲田大学非常勤講師、日本芸術振興会特別研究員PDを経て現職。博士(文学)。著書に『「色盲」と近代——十九世紀における色彩秩序の再編成』(青弓社、2020年)。

伊藤潤一郎(哲学、文学)

新潟県立大学国際地域学部講師。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。著書に、『ジャン＝リュック・ナンシーと不定の二人称』(人文書院、2022年)、『「誰でもよいあなた」へ——投壺通信』(講談社、2023年)。

黒坂祐(画家)

1991年千葉県生まれ。2019年、東京藝術大学美術研究科油画専攻第3研究室修了。自身の色覚特性を主題とし、主に絵画表現を用いた作品制作に取り組む。シェル美術賞2019グランプリ受賞。

村谷つかさ(社会包摂、デザイン)

筑紫女学園大学現代社会学部現代社会学科准教授。九州大学大学院芸術工学府博士後期課程修了。博士(芸術工学)。共編著書に「アートマネジメントと社会包摂 アートの現場を社会にひらく」(水曜社、2021年)ほか。

第二部 講演者4名による来場者の意見を交えたパネルディスカッション

●参加のお申し込み・お問い合わせ

下記の項目を記載のうえ、QRコード、メール、Faxのいずれかよりお申し込みください。日本色彩学会第55回全国大会参加者は、あらかじめ参加申込みをする必要はありません。会場参加とオンライン参加のどちらかをお選びいただけます。

- | | |
|-------------------------|---------|
| ①メールアドレス | ⑤所属(任意) |
| ②氏名 | ⑥受講の動機 |
| ③フリガナ | ⑦自由記述欄 |
| ④参加形式(希望): 会場参加/オンライン参加 | |

●申込先(日本色彩学会第55回全国大会実行委員会)

メール t-muraya@chikushi-u.ac.jp
FAX 092-553-4508

スマホで簡単
申込フォーム



●応募締切: 2024年6月21日(金) ●参加費: 無料(要事前申込み)

(会場参加: 50名/先着順、オンライン参加: 定員無し)

●オンライン参加について

- *後日Zoomのリンク先をメールにてご連絡いたします。
- *アーカイブ配信は予定しておりません。

●アクセシビリティ

当日の配慮についてご要望等がありましたら、可能な範囲で対応いたしますので、お申込みの際に『自由筆記欄』の項目にお書きください。

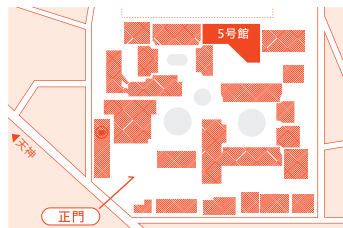
会場

九州大学大橋キャンパス 5号館1階511教室
福岡市南区塩原4-9-1

アクセス

- ・JR 竹下駅より... 徒歩10分
- ・西鉄大橋駅より... 徒歩5分
- ・西鉄バス「塩原4丁目」バス停より... 徒歩5分

Campus Map



Google Map



このパネルディスカッションに関する情報は、日本色彩学会のサイトからご確認いただけます。

<https://color-science.jp>

日本色彩学会

1948年設立の「日本色彩科学協会」を前身とし、その後1970年に「日本色彩学会」と改称し、2015年4月1日に一般社団法人となった。本会の目的は、色彩学およびその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互および内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、色彩学の進歩普及を図り、もってわが国の学術発展に寄与することである。